調査手法：ＵXの観点から調査

調査対象：他の大学ポータルのTOPページ

調査方法：1,Human Interface Guidelines 15の原則

2, ヤコブ・ニールセンのユーザビリティ10原則

図１

グラフィカル ユーザー インターフェイス, Web サイト

自動的に生成された説明

特徴

　・一度の認証で学内の主要な情報サービスを受けることが可能。

　・ポータルの認証には，本学の統合認証基盤として開発された金沢大学統合認証システムを利用している（この統合認証基盤には，Shibboleth3と呼ばれるシングルサインオンを可能とする技術を利用）

<https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/na/manual/index>　←サイトのURL

（著書　東 昭孝, 笠原 禎也, 高田 良宏, 二木 恵, 松平 拓也, 森 祥寛　達による

「金沢大学全ポータルシステム(アカンサスポータル) の開発思想と運用状況」より抜擢）  
原則１

１

　本質とは異なる目的はなし。このサイトの目的（私観）は学生生活において手軽な認証で学生生活に必要な情報を容易（デザイン管理や各カテゴリ化によって）に入手できること。

２

　①~⑥や⑧のように情報の優先順位がある。

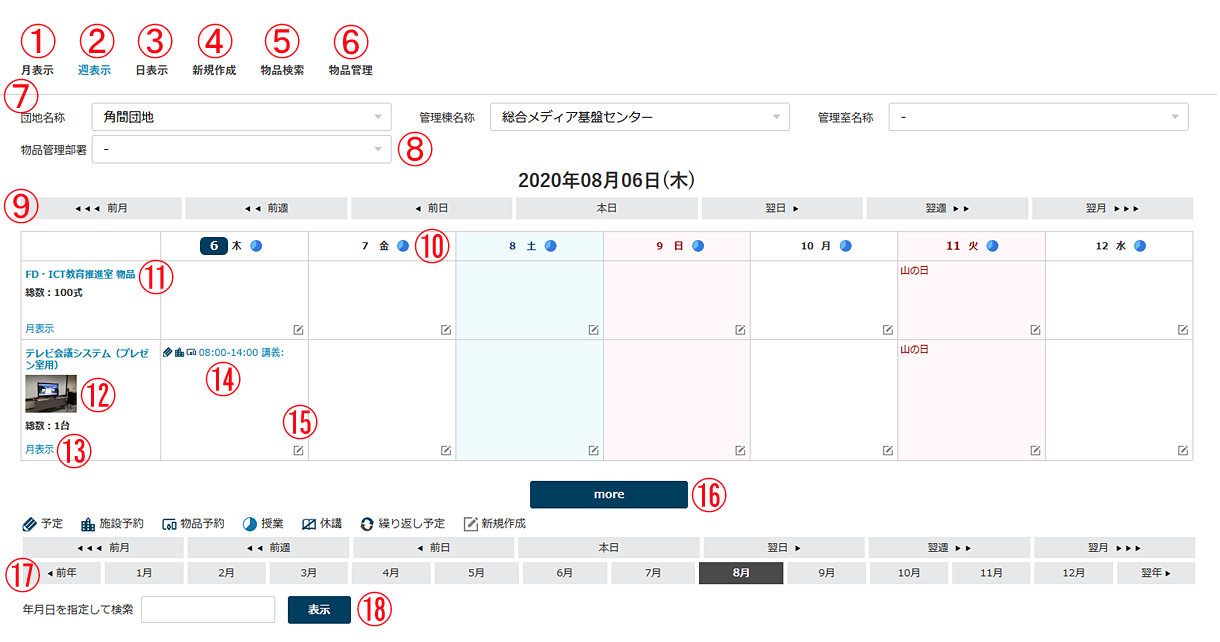
　ホームが最優先で資格に入りやすいところにあること（①~⑧）

　⑧と⑩を比べて⑧が情報の量を基に優先されて上側に配置されている。

３

　アイコン（ホーム、メッセージ、掲示板など）やカテゴリ（システム、認証システム、業務な）など積極的に採用されている。

４



　↑物品予約の画面（図２）

ユーザ自身が現在の行動（立ち位置）を認識できる。

５と13

　フォントはおそらく游ゴシック Light

　　背景の基調が白、青、黒（文字）で統一されていて無駄な彩色がされていない。

　アイコンは情報に合わせて（例：カテゴリとそれに含まれる情報の大きさ）見やすい

６

　図１の⑧や⑩のこと

７

　検索条件を絞る場所（図２の⑦や⑱）が考えなくともわかる。さらに⑫のように画像が付与されていて遷移先の情報が一部分かりやすい

８

　図１の①~⑥のことである。

９

　視覚に関しては操作経験がないため分からない。

聴覚的には必要がない。

理由として操作を行う上で毎回音が鳴ると不快であるし、重要な情報の部分だけで音が鳴るとしてもそこにたどり着くまでのルートで視覚が優先されているので聴覚で伝える必要がない。（推察である。根拠は後で）

１０

　操作経験がないため分からない

１１

　なし

１２

　モーダル

原則２

　１，背景の基調が白、青、黒（文字）で統一かつアイコンの色の使い分け

　２，

　３，

　４，フォント、色の統一がされている。

　５，操作経験がないため分からない

　６，

　７，

　８，図１青、白、黒の使い分けで情報の見分けがしやすい

　９，ポータルサイトにはない

　10、ヘルプは図１⑤、マニュアルはポータルサイト内にはない（外部に配置されている

　URL <https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/na/manual/manual?md=023_goods-reserve.md&type=staff> )

テーブル

自動的に生成された説明

↑図３

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

図４

特徴

・学生・教員・事務職員の相互コミュニケーションの実現

・授業・学習支援を強化するシステム

・ワンストップ＋ノンストップなサービスをWEBで実現

・授業支援コンテンツ、学習支援コンテンツ、事務情報コンテンツの三つで構成

グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明

カレンダー

中程度の精度で自動的に生成された説明

使用単語

Human Interface Guidelines（村井君作成）の15原則

ヤコブ・ニールセンによるユーザインタフェース(UI)デザインの原則

１　システム状態の視認性を高める

(Visibility of system status)

２　実環境に合ったシステムを構築する

(Match between system and the real world)

３　ユーザーにコントロールの主導権と自由度を与える

(User control and freedom)

４　一貫性と標準化を保持する

(Consistency and standards)

５　エラーの発生を事前に防止する

(Error prevention)

６　記憶しなくても、見ればわかるようなデザインを行う

(Recognition rather than recall)

７　柔軟性と効率性を持たせる

(Flexibility and efficiency of use)

８　最小限で美しいデザインを施す

(Aesthetic and minimalist design)

９　ユーザによるエラー認識、診断、回復をサポートする

(Help users recognize, diagnose, and recover from errors)

１０　ヘルプとマニュアルを用意する

(Help and documentation)

使用URL